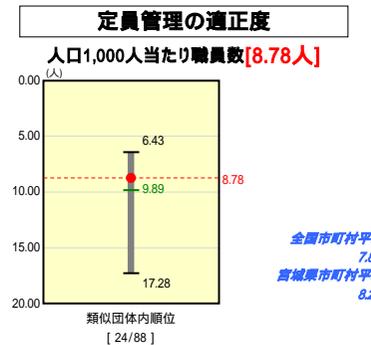
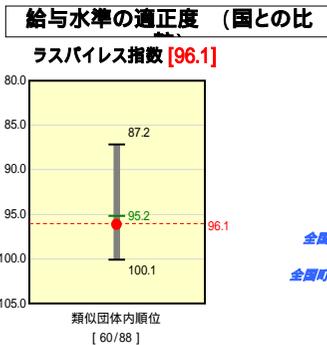
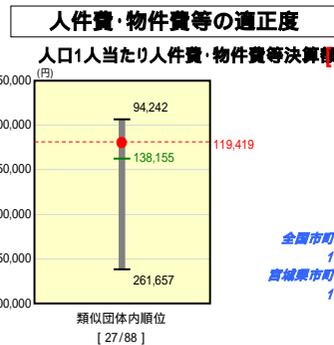
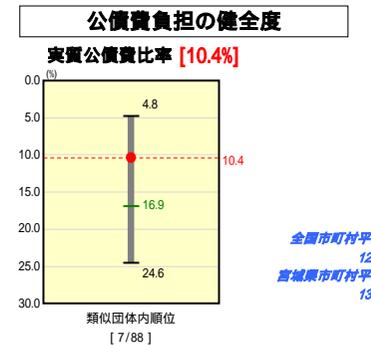
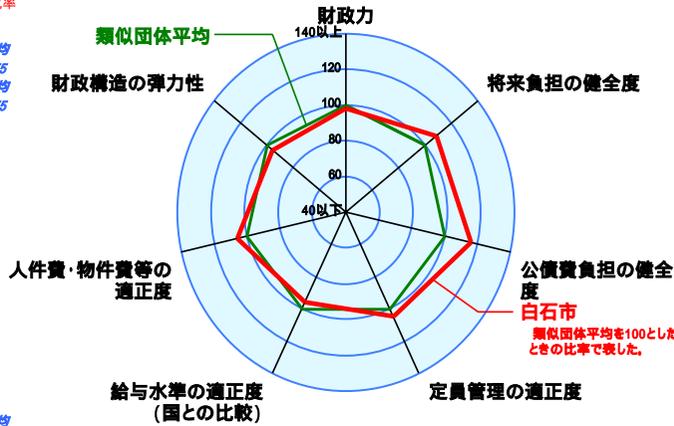
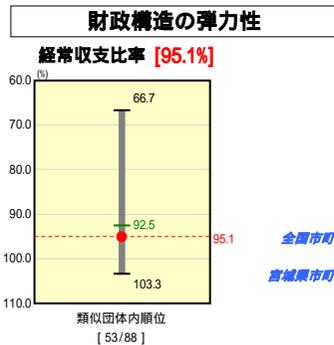
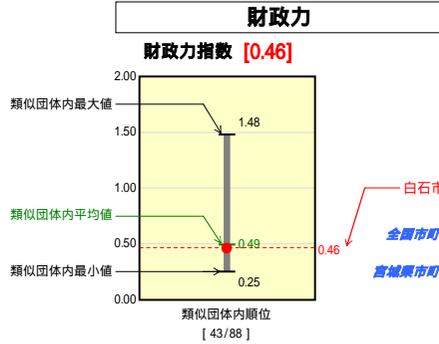


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

宮城県 白石市

| | | |
|------|------------|-----------------|
| 人口 | 38,849 | 人(H20.3.31現在) |
| 面積 | 286.47 | km ² |
| 歳入総額 | 14,234,375 | 千円 |
| 歳出総額 | 13,698,445 | 千円 |
| | 522,934 | 千円 |



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析概

財政力指数

・税源移譲により市民税の増額があったものの、人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(平成19年度末26.4%)に加え、景気低迷の影響により0.46と類似団体平均を若干下回っている。定員適正化計画による人件費の削減や事業の見直しなどにより歳出削減を実施するとともに、市税等収納率の向上など自主財源確保に取り組み、財政の健全化を図る。

経常収支比率

・経常的経費が前年度に比べ286百万円減少したものの、地方譲与税や普通交付税の減額など経常一般財源等が521百万円減少し、前年度から0.4ポイント上昇して、95.1%と全国平均及び類似団体平均を上回る結果となった。扶助費が増加傾向にあることから、今後も白石市行政改革推進計画に沿った取り組みを通して経常的経費の削減に努める。

人口1人当たりの人件費・物件費

・類似団体平均を下回っている。今後も同水準を保つように、白石市行政改革推進計画を着実に実行して、人件費、物件費などの削減に努める。

ラスパイレス指数

・全国平均を0.9ポイント下回り、類似団体平均とは0.9ポイント差であることから、ほぼ適正な水準であると考えられるが、今後も引き続き各種手当の総点検を行うなど、より一層の給与の適正化に努める。

人口1人当たりの地方債残高

・類似団体平均を下回っているが、今後も新規の地方債発行には財政状況を十分に考慮し、類似団体平均を上回ることがないように努める。

実質公債費比率

・高利率の地方債を繰上償還してきたことから、類似団体平均を大きく下回る10.4%となっている。しかし、今後公営企業の元利償還金への繰入金、一部事務組合などの公債費への負担金等の増額が予想されることから、白石市総合計画のもと、緊急度・住民ニーズを的確に把握して事業を行うなど健全な財政運営に努める。

人口1,000人当たりの職員数

・これまで定員適正化計画を着実に実行しており、類似団体平均を下回っている。平成22年4月1日における市全体の総定数については、平成17年4月1日現在の総定員に対して18人(4.6%)減を目標として職員削減に努める。